

平成20年度 第4回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成21年2月20日(金) 10:00~17:10

2. 場 所 佐渡市役所 3階 大会議室

3. 出席者 25人

推進委員		佐渡市役所	
会 長	中川英男	総務部長	斉藤英夫
職務代理	信田恵子	企画財政部長	齋藤元彦
委 員	伊藤稔	市民環境部長	金子優
"	宇留間博	福祉保健部長	鹿野義廣
"	甲斐逸枝	産業観光部長	佐々木正雄
"	後藤新一	建設部長	田畑孝雄
"	松本保之	教育次長	藤井武雄
"	山本初子	選挙管理委員会事務局長	藤井雄一
"	山本保孝	農業委員会事務局長	藤井与嗣明
		消防本部次長	加藤貴一
		事 務 局	
		総務部行政改革課長	佐藤金満
		総務部行政改革課長補佐	清水忠雄
		総務部行政改革課行政評価係長	加藤留美子
		総務部行政改革課行政評価係主事	長尾啓介
		総務部行政改革課行革推進係長	丹下高晴
		総務部行政改革課行革推進係主任	北見太志

4. 会議内容

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

1) 平成20年度改革マニフェストの中間評価について

2) その他

4. 今後の日程・連絡事項

5. 閉会

会 議 録 (要 約 版)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

1) 平成20年度改革マニフェストの中間評価について

【事務局の説明】

評価方法等について、説明。

今回は中間評価として、2)取組過程を重点にお願いしたい。しかし、選挙管理委員会事務局のように実績が確定しているものは、3)実績、4)取組み後の対応の評価もお願いしたい。また、第1回行政改革推進委員会で評価した、1)計画の妥当性について、今回の中間評価による修正があれば、併せて記載をお願いしたい。

また、年度途中であることから、自己検証シートの実績が確定していない場合は平成20年12月末現在の値、又は見込値での記入となっている。取組中の場合は取組後の対応欄が空欄となるので、最終評価の際に評価していただきたい。

第3回行政改革推進委員会で集中改革プランの進捗状況のヒアリング結果を報告した際の意見については、各部局長に伝えてあるので、自己検証シートの項目やプレゼンテーションから回答が得られなければ、質問していただきたい。

【総務部・選挙管理委員会事務局・農業委員会事務局のプレゼンテーション】

【斉藤総務部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【藤井選挙管理委員会事務局長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【藤井農業委員会事務局長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【伊藤委員】

新潟県知事選の投票率はどうだったか。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

新潟県知事選の投票率は58.75%で前回より下がっている。

【伊藤委員】

その原因は検証されたか。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

検証していない。

【伊藤委員】

自主防災組織について、210組織を達成したと言うが、限界集落的な要素のある組織は何組織あるか。

【斉藤総務部長】

詳細は調べてないが、6、7割程度と思う。

【甲斐委員】

行財政改革の中に人件費があるが、人件費と人件費比率はどうか。

【斉藤総務部長】

平成20年度一般会計で人件費は約86億円。全体の424億円に対して20%が人件費比率である。

【甲斐委員】

現在、給与を3%削減しているが、6%削減にはできないか。

【斉藤総務部長】

検討はしているが、難しい。

【松本委員】

市長からの諮問に答えるだけで、市民からすれば委員が事務局に同調しているだけなのでは無いのかと見られている。

【中川会長】

今言われたことに関しては最後に議論したい。ここでは部局長のマニフェストの質疑にとどめたい。

【山本(初)委員】

施設の統廃合であるが、執行部の決定を即実行というやり方は良くない。学校等は2年3年かけて統廃合するが、他の施設は来年廃止するというやり方は良くない。

【斉藤総務部長】

公共施設1000余りの施設の方向性を市民に公表させていただいた。その中で存続は6割、残りは廃止、譲渡として公表し市民から意見をいただいているところである。地元の意見を聞くことが前提になるので、十分に説明をした上で処分を進めたい。

【伊藤委員】

昨年6月の最終答申で市長に提案したが、総務部長の仕事から切り離して、行政改革課に執行権を持たせて対等に話しを進めないと、本当の行政改革が進まない。責任も行政改革課に取らせるような体制をお願いしたい。もう少しスピーディーになっていただきたい。

【斉藤総務部長】

総務部長の役割は、行政改革課の露払いと言うか、課長が仕事をしやすいようにするのが私の仕事と考えている。

【宇留間委員】

職員定数の改革は、職員数を減らせば必ずサービス低下につながる。よって、定数を確保しながら行政改革を進める気構えに変わってほしい。

選挙管理委員会事務局、最大の目標は投票率を上げることである。投票所の集約をしているが、なぜ全域で取組まないのか。投票所の集約をしながら投票率を上げる、相反することだがやらなくてはいけない。

農業委員会事務局、農地を集約すると言っているが、ある程度意欲のある人が農地を集める努力をしてその意欲ある人を後押ししていくしかないと思う。

【斉藤総務部長】

定数を減らさず給料を減らせということだが、それも一つの方法だと思う。議会からは面積、人口、産業の近いものと比較しても職員数が多いと言われている。定数削減をした後、その件も含めて検討する必要があると考えている。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

投票率を上げることが第一の目標である。投票所数を集約するとの意見もあるが、限界集落のことを考えると難しい。

【宇留間委員】

相川地区で3投票所を1つに集約したが、その地元説明会で老人の投票率は落ちると申し上げた。しかし執行部は決定事項を市民へ下ろし、そのような意見には見向きもしなかった。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

投票所の基準を統一しなければならなかった。

【宇留間委員】

基準があるのであれば、基準どおりに全域すれば良いということを申し上げている。基準があるのであれば2キロ以内で未統合の所は統合すると掲げ、投票率も上げることでも載せ、苦しい部分も評価させて欲しい。

【藤井農業委員会事務局長】

預け易い、作りやすい状況を整えることが私どもの仕事として、連担を確保できるような形を進めていきたい。

【宇留間委員】

農業委員会事務局長の見解を聞きたい。減反に協力しない人が客を掴まえ所得を増やし、減反政策に協力した人が所得を落としている社会は是正してもらいたい。行政に協力した人が駄目で、協力しなかった人が成功する社会はない。

【藤井農業委員会事務局長】

個人の考えだが、10年後の食料自給率を50%にするという国の考え方もあるので、それに伴って生産調整、米を飼料や他のものでの生産振興を考えていかなければならないと思っている。

【中川会長】

自己検証シート作成に当たって、自己評価、所見など総務部長自らの判断で記入しているのか、それとも所管課の課長が書いているのか聞かせていただきたい。

【斉藤総務部長】

自分で書いている。

【中川会長】

E評価をしてはならないと思う。自ら一年間頑張ってきているのだから、真剣に取り組んでいるのか、いないのかと言うことも有るので、結果を見ずにEというのは上手くない。

【山本(保)委員】

総務部長、遊休施設を解体して返すということだが、借地料を当分払っても解体しない方が良いのか、解体費を払ってでも借地料の解消をした方が良いのか、十分に検討していただきたい。

【斉藤総務部長】

RC構造の建物は解体費用に何千万円もかかる。向こう10年の借地料と比較して明らかに解体費の方が高いと言う場合もあるので、色分けをしながら進めている。

【甲斐委員】

今ほどの件、更地にして返せるものは返して身軽になるのが行政改革。地元の言うことを全て聞いては問題解決にはならない。住民の意見は聞かなければならないが住民にも理解をいただいて進めなければ行政改革は前へ進まない。地元の利や個人の利を言い出したら各論と総論は違うのだから、行政はそこにナタをふらなければならない。そのために我々は嫌なことも行政に言っている。

先ほど回答をいただけなかった、今年の勸奨退職は何人か。

【斉藤総務部長】

勸奨退職は30人強である。

【山本(初)委員】

借地料に関連して、本庁の職員駐車場は借地か。

【斉藤総務部長】

本庁の職員駐車場は借地である。借地料は年間600万円である。

【山本(初)委員】

職員の駐車場料金、一般的に駐車場を借りるのに月300円は考えられない。

【斉藤総務部長】

一挙に民間同様の駐車料金というのは通勤手当との兼ね合いもあり難しく、職員の姿勢として、300円の設定としている。

【山本(初)委員】

企画財政部の生活交通対策のところでは話をしようと思っているが、職員も地球温暖化抑止のために、ノーマイカーデーを設け、公共交通を使う方法を考えてもらいたい。

【斉藤総務部長】

公共交通を利用し、マイカーがどれだけ減るか。駐車場の借地料を減らすと同時に新潟交通への補助金も減らせるということで進めている。

【中川会長】

マニフェストの評価という方法、これは3年間取組んで内部評価で十分だという判断でいる。行革推進本部会議でも議論され、あえて委員が言うことも無いということにもなる。評価よりも、来年度行う行政改革について意見を求めるような事項に変更するべきではないかと思うが、いかがか。

【斉藤総務部長】

ある意味同感である。この評価をするだけが仕事ではないと考えている。ただ、外部委員からも評価いただくことで委員の考え方と我々の考え方のずれがあると思うので、その部分を指摘いただき定着させていこうと考えている。手法が定着すれば内部評価で十分と考えている。

【宇留間委員】

会長が言われたとおり、基準値に従って評価するだけでは意味がない。隠れた項目があるので、そういう部分を見ていかないと意味がない。

【産業観光部・建設部・教育委員会のプレゼンテーション】

【佐々木産業観光部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【田畑建設部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【藤井教育次長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【後藤委員】

産業観光部、4番の復田整備面積、5番の直営施設管理運営の適正化、6番の観光誘客数について、現実は把握しているか。

教育委員会、学校給食に地場を活かすと書いてあるが、どこまで進んでいるのか。

【佐々木産業観光部長】

4番は小倉の千枚田、県のモデル事業で千枚田を復帰し、これをオーナー制度で募集している。0.1ha減だが、オーナーには喜んでいただいている。5番の直営施設管理運営の適正化であるが、4施設の譲渡を目標にしていたが、1施設は整理できなかった。6番の観光誘客数については、暦年での数字を載せてある。もう少し誘客の方針等を検討する必要がある。宿泊数は、伸びる傾向にあるので、来年度は国体、天地人、JRのディステーションキャンペーン、秋の食の陣等のイベントがあるので、今年の反省をそれにつなげていきたい。

【藤井教育次長】

地産地消の関係は、県が平成22年度までに30%以上に上げたいと掲げているが、市は20%で目標を掲げている。その中で教育委員会として取組んでいることは、どの時期にどれだけ野菜が取れるかという野菜カレンダーを給食センターや栄養士に配布している。それから発注状況をJAと市場へ情報提供・交換をしているほか、保護者へ理解をいただく説明会を実施している。また、米飯給食の推進で現在3.5回米飯給食を実施しているが、4回以上へ移行している。

【後藤委員】

産業観光部と教育委員会では契約栽培等、地産地消が密接に関連してくるが部長間で連携されているか。

【藤井教育次長】

学校給食での地産地消は限られた範囲内でやっている。大きな意味での流通システムは、教育委員会だけでは限界があるので、産業観光部で流通システムを検討している。

【佐々木産業観光部長】

商工課が事務局となり、プロジェクトを立ち上げて調査している。

【松本委員】

下水道工事の見直しをする予定はあるか。それから下水道料金が統一されていないが、そのあたりの事を教えていただきたい。

【田畑建設部長】

下水道工事区域の見直しは、認可を受けた部分が平成22年から23年に終わるので、その時に下水道工事区域の再見直しを実施する。見直しの方法は、市民の意向や下水道が安いかわり合併浄化槽が安いかを設計比較して見直しをする。下水道料金は平成26年4月1日から県が管理している国中浄化センターが佐渡市に移管されるので、それまでに

統一したい。

【松本委員】

職員で下水道引き込み工事をしていない方は何人か。

【田畑建設部長】

40%が入っていない。平成20年4月から加入促進係を設け、一般家庭も含めて加入促進に回っている。職員は各上司にお願いして、加入するよう指導している。

【伊藤委員】

住宅使用料が平成19年度は実績94%、平成20年度は実績92.7%となっているが口座振替率は何%か。この数字からは頑張った形跡が見えない。

【田畑建設部長】

口座振替率は、後ほど回答する。

確かに住宅使用料が低くなっているが、夜間徴収に加え、連帯保証人まで連絡をして回収するよう頑張っている。

【伊藤委員】

月何回位、夜間徴収しているか。

【田畑建設部長】

週1回は行くように指導している。

【伊藤委員】

一気に5万円を収めて欲しいといっても難しい。例えば毎月5千円ずつ収めてもらうようなことはしているか。

【田畑建設部長】

分割納入のような契約を交わしながらやっている。

【伊藤委員】

もう少し真剣にやってもらいたい。徴収できなかったら自分の給料もなくなってしまうという気持ちで、一生懸命払っている方にも説明できるよう行動してもらいたい。

次に教育委員会、給食費は100%収納されているか。

【藤井教育次長】

100%ではない。

【伊藤委員】

学校給食の収納のあり方は色々言われているが、口座振替率は何%か。

【藤井教育次長】

後で回答する。

【伊藤委員】

口座振替率を増やして債権リスクを減らしてもらいたい。

【松本委員】

水道料だが、例えば滞納した場合、何%位を払うと継続して水を出してもらえるのか。

【田畑建設部長】

平成20年度から統一見解を出し、1ケ月経過すると督促状を発行、2ケ月後に催告状を出して、3ケ月目に給水停止通知を出す。それでも連絡が無い場合、こちらから伺って分割の契約書を書いていただいている。

【松本委員】

極端な話し100円でも良いのか。

【田畑建設部長】

例えば50万円滞納していれば月々の使用料プラス滞納額の50万円が減るような形でお願いしている。新年度からは債権回収の専門部署を新設し、効率良く滞納整理できるように検討している。

【松本委員】

聞いていると給食費も使用料も全て曖昧な中で事務をされている。一定の基準を設けないといけない。

【甲斐委員】

給水停止をしたところはあるのか。

【田畑建設部長】

あります。伺っても分割計画を出してこないなので停止した。

【松本委員】

滞納者が話に応じない場合か。

【田畑建設部長】

はい。

【甲斐委員】

学校給食の地産地消は、学校給食で使う産物の総トン数は分かるか。

【藤井教育次長】

米が75トン位。その他は資料がないので、今、答えられない。

【甲斐委員】

ジャガイモは3600キロ位と聞いたことがあるが、地元で生産してもらえば所得も上がることで、税収にも繋がると考えることが一点。それから市長が前処理をしてでも給食に使うと打ち出しているが実情はどうか。

【藤井教育次長】

その方向に向かっている。

【佐々木産業観光部長】

こちらとしては使って欲しいと売り込みするが、佐渡産の物は規格が揃っていないのが不評のようである。今後は今言われた方向へ行きたいので、必要なものをどれだけ揃えればいいのかを聞いて、それを農家に作ってもらいたいと考えている。新年度からは地産地消担当を配置し、専門でやらせたい。

【甲斐委員】

不揃いとか規格外と言っていたら一向に進まない。使うところに軸足を置いたら使う方も工夫していかないと佐渡の産物は使えない。行政の指導として前処理のものを実際に調理現場で利用できるよう実現に向けて動いて欲しい。

【佐々木産業観光部長】

そのつもりで頑張りたい。限界集落等と言われているが、市が指針等を示し、市が指導すれば高齢者の農家でも作ってもらえると言うところまで視野に入れていきたい。

【中川会長】

単価の差も考慮しなければいけない。多少は高くても買うのかどうかまで検討してもらいたい。

【山本(初)委員】

教育委員会の学校統合の問題だが、廃校校舎を全体では大き過ぎるので学校の一部分だけ貸してもらいたいと言うことは可能か。

【藤井教育次長】

検討させていただきたい。

【中川会長】

自己検証シートの自己評価、コメント欄は部局長の判断か、それとも所管課の意見を出してもらって書いたのか、それとも打ち合わせ等をしてしながらその感覚から部局長が書いたのか、各部局長に伺いたい。

【佐々木産業観光部長】

産業観光部は毎月、課長会議を開催し進捗状況を管理しているので、それを踏まえて私が書いた。

【田畑建設部長】

基本的には私が書いたが、専門的な細かい部分は課長に聞いた。

【藤井教育次長】

総評は私が書いた。良かった点は各課長に書いてもらい、悪かった点は私が書いた。

【宇留間委員】

建設部、下水道供用開始区域の加入率と目標率を出して欲しいと事前をお願いしてあるが具体的な数字が一向に出ない。

【田畑建設部長】

水洗化率を書いてあるが、水洗化率イコール加入率と考えていただきたい。

【後藤委員】

教育委員会、佐渡にいじめが何人、不登校が何人が教えていただきたい。

【藤井教育次長】

後日、資料を出す。

【企画財政部・市民環境部のプレゼンテーション】

【齋藤企画財政部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【金子市民環境部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【伊藤委員】

収納対策で新しい対策を考えていると言われたが、それはどのような手法か。

【金子市民環境部長】

収納には現年度分と過年度分があるが、過年度分で特に悪質なものを徴収する債権収納対策課を設置したい。債権収納対策課は3年の期限で集中的に行ないたい。

【伊藤委員】

各種税の口座振替率を教えてください。

【金子市民環境部長】

40～50%であるが、後で資料を届ける。

【伊藤委員】

し尿処理は口座振替率100%に出来ても良いと思うが、出来ない理由は何か。

【金子市民環境部長】

お年寄りには口座振替を好まない。口座振替率を100%にしてもその口座にお金を入れてくれない方がたくさんいる。酷い方は引き落とし口座にお金を入れてくれない状況である。

し尿処理は、シルバー人材に委託しているものもある。

【伊藤委員】

延滞金以外のペナルティはあるか。

【金子市民環境部長】

国保は保険証の取り上げがあるが、市税はペナルティが無く、差押えをするが、差押えしたものを金にするため、新たにインターネット上での公売にかけるようにした。

し尿処理は全くペナルティが無く督促料もない。

【伊藤委員】

収納は善良な市民から見ると、払わない人がいると公平感が無く、失礼な話だと思うので、真剣に考えて善良な市民に報いるような内容でお願いしたい。

【金子市民環境部長】

借金しても納税する人もいるので、努力する。

【伊藤委員】

佐渡航路対策だが、佐渡汽船のバランスシートは見ているか。

【齋藤企画財政部長】

佐渡市は株主になっているが、見ていない。

【伊藤委員】

それはどうしてか。

【齋藤企画財政部長】

財務体質以外の誘客支援等に重点を置いて協議会をしているので、チェックしていない。

【伊藤委員】

財政を担当する部長である。抜本的にどこに問題があるのか確認してもらいたい。

【齋藤企画財政部長】

財務体質の改善に市がどこまで踏み込んでいけるのか分からないが、頑張りたい。

【伊藤委員】

公債費比率の目標15.5%が実績16.4%とある。起債の借り入れにおいて国の許可が必要となる18%は時間の問題でないか。

【齋藤企画財政部長】

一つのきっかけが4年後に国の交付税が減る時がポイントである。18%にならないように予算規模の縮小をしていかなければならないと思っている。将来を見据えて財政

計画の中に収まる規模でしっかりやるという路線を貫きたい。

【伊藤委員】

佐渡市の人口一人当たりの市債額はいくらか。それと新潟県全体の平均はいくらか。

【齋藤企画財政部長】

後で出す。

【甲斐委員】

企画財政部長に伺う。総務部長から人員を500人位まで減らすと言うことで話があったが、企画財政部長として適正人員はどのあたりに目標を掲げてやったら財政的には良いと考えているか。

【齋藤企画財政部長】

今、補助事業が減っていく中で全体に対する人件費の割合が高くなっている。人数ははっきり言えないにしてもワークシェアリング等をして額を減らしていくことは考えなければいけないと思っている。

【松本委員】

4年後の予算はいくら位になるか。

【齋藤企画財政部長】

5年後で370億円位である。

【松本委員】

延滞金の控除はあるのか。

【金子市民環境部長】

基本的には控除は一切ない。一円まで取る。

【松本委員】

物納は可能か。

【金子市民環境部長】

物納はあるが、どう評価するかが難しい。

【松本委員】

部長達が退職すると徴収方法が変わるのではないか。

【金子市民環境部長】

取り扱い方法を統一して、ブラックリストまで作ったうえで引き継ごうというのが、債権収納対策課になる。

【松本委員】

滞納の10億円を100%達成するのは無理ではないか。

【金子市民環境部長】

諦めずに知恵を出して徴収するような組織にしたい。

【山本(保)委員】

佐渡市の中で納税組合はどれだけあったか。

【金子市民環境部長】

旧市町村で4地区あった。

【山本(保)委員】

納税組合があるところは収納率100%だと思う。口座振替に変更すると収納率が下

がることを懸念する。

【金子市民環境部長】

納税組合が口座を作って右から左へ収めていただけるようなところもあった。若い世代は個人情報保護について大分議論があった。

【山本(初)委員】

生活交通確保対策だが、学校の統合でスクールバスを配置するという観点から、路線バスが走行しているところに関しては路線バスに子どもを乗せたらどうかと意見する。赤字路線バスへ2億円の税金を投じていることを市民はわかっていない。そのことを市民に周知して使ってもらえるようお願いしたい。それから職員の通勤に路線バスを使うような計画をお願いしたい。

【齋藤企画財政部長】

職員のノーマイカーデーの取組みは公共交通の利用を促進していこうということで検討している。佐渡市が率先してやろうということで計画を作っている最中である。

【山本(初)委員】

路線バスの走っていない場所があるが、そこに路線バスを走らせ、スクールバスの代わりになれば採算的に良い部分もあるので、教育委員会とも検討していただきたい。

【甲斐委員】

女性の参画だが、参画以前に女性のレベルアップを図るため、市民の学習会というのを計画していただきたい。

【齋藤企画財政部長】

仕掛け作りをしたいと思う。

【中川会長】

全部局長に伺っている。自己検証シートの自己評価、コメント欄は部長の判断か、それとも所管課の意見を出してもらって書いたのか、それとも打ち合わせ等をしながらの感覚から部長が書いたのか、それぞれに伺いたい。

【齋藤企画財政部長】

私の部は部長というのは個人だが、組織の長という一つの執行システムでもあるので、個人での記入ではなく、各課から出してもらい、それをチェックしていくということで、組織として記入してある。

【金子市民環境部長】

自己評価は課長に聞きながら、私が評価した。

【福祉保健部・消防本部のプレゼンテーション】

【鹿野福祉保健部長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【加藤消防長】

(別紙自己検証シートについて説明)

【後藤委員】

保育園の問題だが、廃園になった後はどう利用するのか。

【鹿野福祉保健部長】

廃止後は、その都度、問題に合わせて検討したい。今までの関連で言うと、地域活性化のために使えるものであれば、地域と話をさせていただいている。

【後藤委員】

佐和田地区には4園あるが、マイクロバスで通園するのか。

【鹿野福祉保健部長】

どこを統合するのかと言うことは明言できないが、平成24年から5年間の後期計画で佐和田地区の4園を2園とする計画はある。その交通手段や土地の件はそれと同時に調整させていただきたい。

【山本(初)委員】

消防団員協力事業所表示制度であるが、消防団員は増加しているか。

【加藤消防長】

佐渡の場合は、後任を探してから退団していただいているので、平均的で推移している。

【山本(初)委員】

消防団員協力事業所に対する営業補償のようなものはあるか。

【加藤消防長】

今年からの取組みで、消防団員が2人以上いる事業所が対象である。気持ちよく協力いただいているが、事業所に対する補償は確立されていない。他県では法人税の何%を控除するというような事例はある。

【山本(初)委員】

福祉保健部、出産一時金として35万円を支払うということであるが、実際にいくらかかるか分かるか。

【鹿野福祉保健部長】

42万円から47万円位と聞いている。新年度はそれを全て補填したいと考えている。

【甲斐委員】

佐渡総合病院が建つが、市民の税金が投入されることをPRしていただきたい。医療制度が確立されないと人口が増えない。人口が増えないと税収も無いので、上手なPRをしてもらいたい。

【鹿野福祉保健部長】

計画はあるものの、病院そのものの実施設計に入っていないので明言できないが、現在にプラスして高度医療を病院の中に入れたいという予定でいるようである。究極は島を渡らなくても、島の中で完結できる医療を目指しているが、高度医療全てを賄うのは大変なことである。但し、それを目指していると言ってくれていることは非常に有難いことである。

【松本委員】

佐渡病院はいつ完成するのか。

【鹿野福祉保健部長】

今の計画では平成23年の秋ということで聞いている。

【山本(初)委員】

真野第2保育園の民間委託の話があったが、デイサービスセンターと保育園を別々に民間委託というようなこともあるのか。

【鹿野福祉保健部長】

複合施設のままでは預かっていたところを探している。

【中川会長】

全部局長に伺っているが、自己検証シートの自己評価、コメント欄は部長の判断か、それとも所管課の意見を出してもらって書いたのか、それとも打ち合わせ等をしながらその感覚から部長が書いたのか、それぞれに伺いたい。

【鹿野福祉保健部長】

所管課と一緒に自分の事業を見直す意味と反省した事を次年度どのように改善するのかを理解してもらうために、協議をしながら書いた。

【加藤消防長】

自己評価のランクは全て私が書いた。総評も私に対応した。内容について、若干、本部長と協議をさせていただいた部分もある。

【山本(初)委員】

火災発生件数の抑制に高齢者の安否確認があるが、現在の状況はどうか。

【加藤消防長】

自己検証シートの活動指標で数字が下がっているが、取組みは継続しており、民生委員の他に団員とも連携している。

2) その他

【丹下行革推進係長】

その他については、事務局からは特別用意はしていないが、午前中に問題提起されている、manifestoの評価等について確認をさせていただきたい。manifestoの取組みについては、集中改革プランの項目から重点化したものをmanifestoとして掲げ、その評価をしていただきたいということであったが、午前中、言われたことは、外部評価の必要性について検証して欲しいということによろしかったか。

【中川会長】

3年も続けば部局長自らが評価を進めれば良いのではないかとことを申し上げた。

4. 今後の日程・連絡事項

【北見主任】

議会日程が決まっていないが、現段階では市長への中間答申を3月26日(木)の午後1時30分で調整している。

また、次回の委員会は3月17日か19日の午後に開催できればと考えている。

【中川会長】

次回の委員会は3月19日に決定する。

各委員にお願いであるが、次年度に対する提言というのがある。様式は問わないので評価シートと併せて3月6日までに提出していただきたい。

【北見主任】

3月19日の委員会開催文書と一緒に中間答申(案)を郵送させていただくので、内容

を確認して、次回の委員会で意見を聞かせていただきたい。

5 . 閉会